

令和 7 年 4 月 10 日
令和 7 年 6 月 5 日訂正
気象庁大気海洋部

配信資料に関するお知らせ

～気象レーダーの更新とそれに伴う運用休止について～

気象庁は、今年度、函館レーダーを二重偏波気象レーダーに更新します。この更新作業に伴い、下記のとおりレーダーを運用休止します。また、運用休止期間中のレーダーデータの利用及び更新後の「極座標」の配信データの変更について留意願います。

記

1 運用休止期間（予定）

函館レーダー：令和 7 年 5 月 23 日（金）～7 月 11 日（金）

- ・運用休止期間は、現時点での計画であり、天候等の都合により変更する場合があります。
- ・運用休止・再開にあたり、気象業務支援センター宛てにレンラク報による周知を行います。

2 レーダーデータへの影響

運用休止期間中は当該レーダーの観測処理範囲（別紙 1）において、降水エコーが観測されない、又は降水エコーが実際より弱く観測されることがあります。影響を受ける観測資料及びプロダクトは別紙 2 のとおりです。なお、隣接する気象庁レーダーや国土交通省のレーダ雨量計等の利用により防災気象情報の運用には支障はありません。

3 更新後のレーダーデータ

更新の前後で、配信されるデータのフォーマットに変更はありません。

空中線走査シーケンス（アンテナを回す仰角の組み合わせ）の変更に伴い、「レーダー毎極座標レーダーエコー強度 GPV」及び「レーダー毎極座標ドップラー速度 GPV」に含まれる観測仰角や仰角数が変わりますが、それらは従来どおりのフォーマットに従ってデータに書き込まれます。

以上

問い合わせ先：気象庁大気海洋部観測整備計画課レーダー運用係
電話：03-6758-3900 内線 4322

【訂正履歴】

○令和 7 年 6 月 5 日

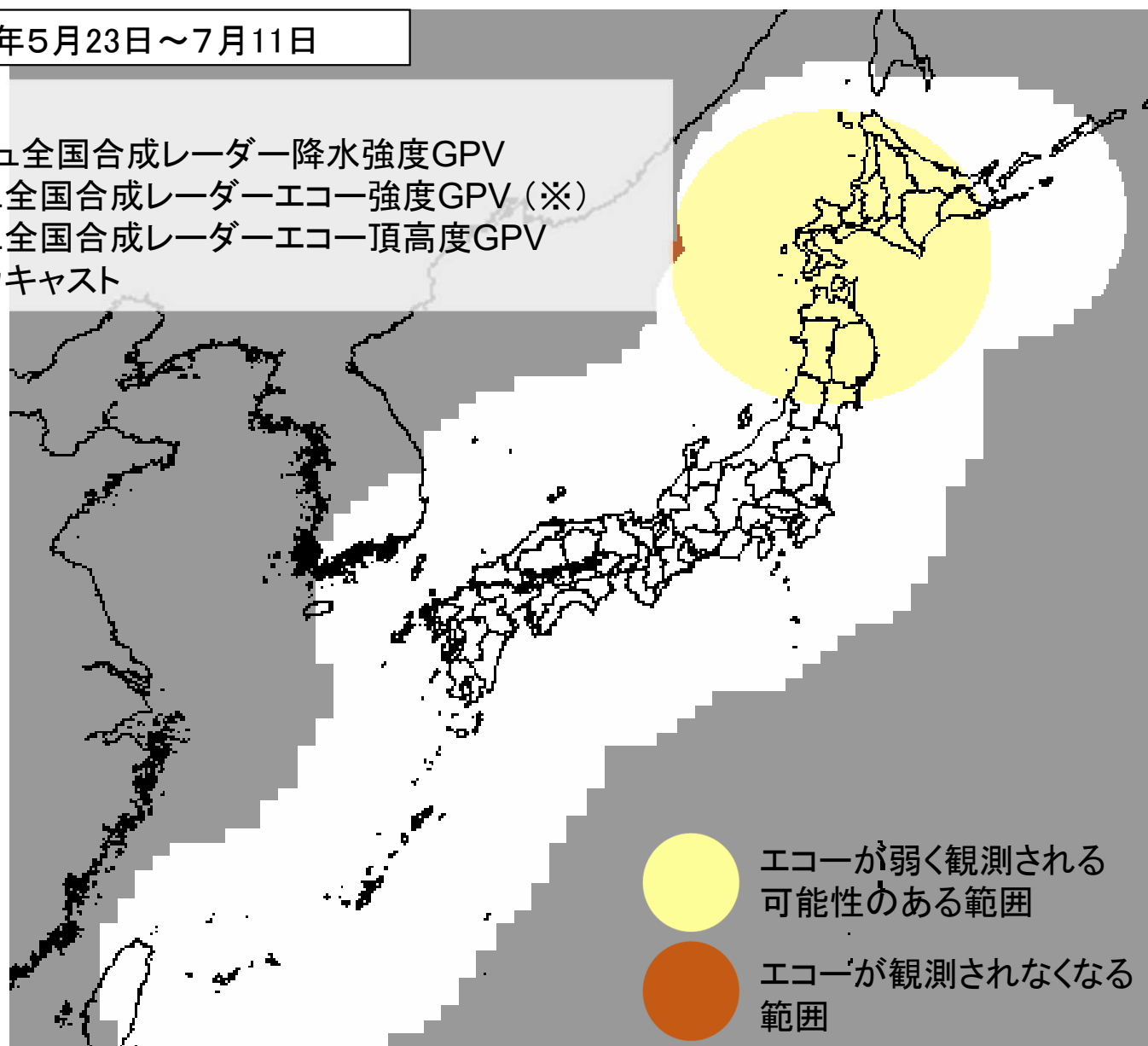
- ・別紙 2 の気象レーダーの運用休止に伴い影響があるプロダクトについて、雷の自動判別が行われなくなる官署に青森地方気象台を追加しました。

函館レーダー運用休止による影響範囲

令和7年5月23日～7月11日

(例)

- ・5分毎250mメッシュ全国合成レーダー降水強度GPV
- ・5分毎1kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度GPV (※)
- ・5分毎1kmメッシュ全国合成レーダーエコー頂高度GPV
- ・高解像度降水ナウキャスト



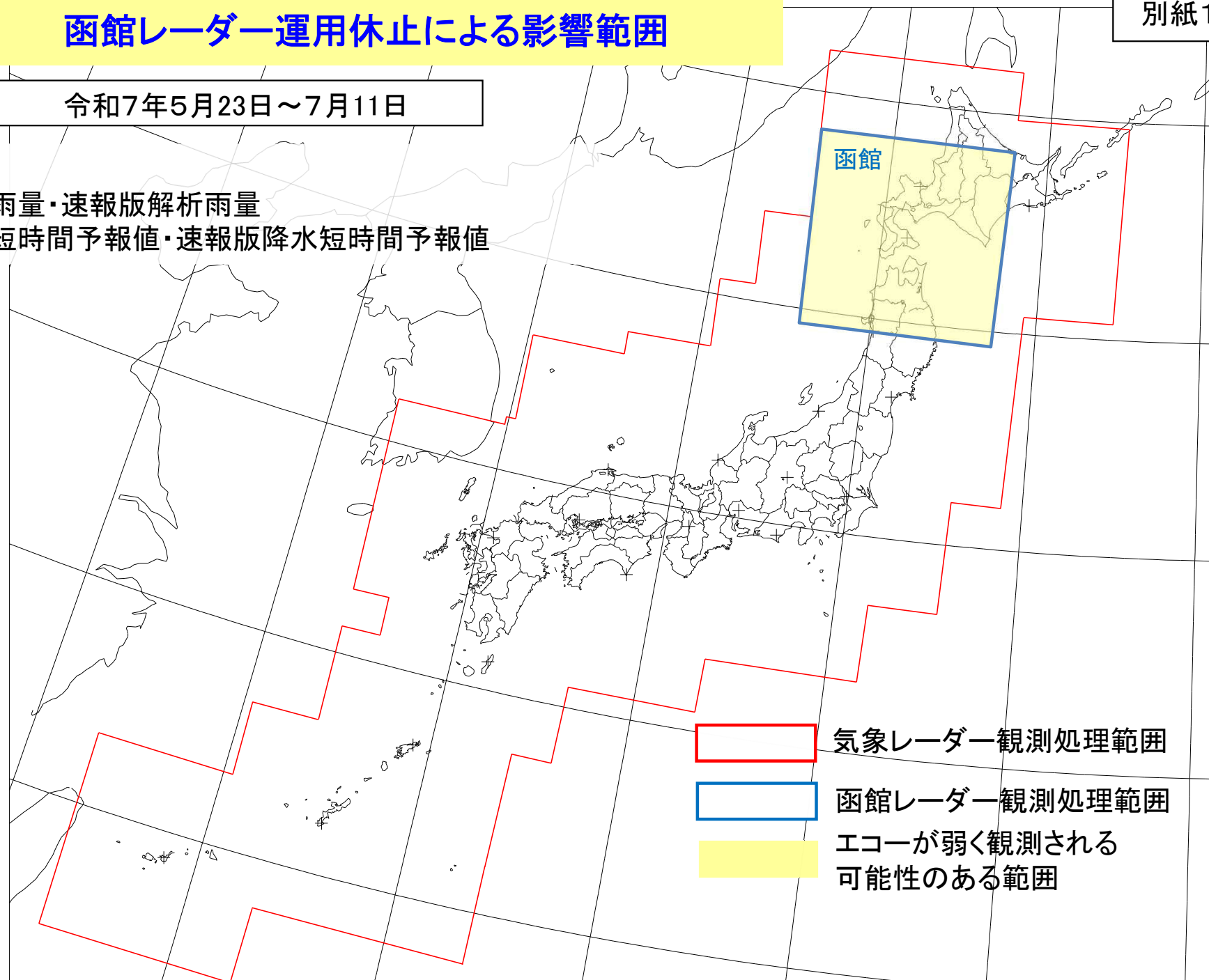
(※) データのある領域は別紙1－2の「気象レーダー観測処理範囲(赤色の線)」と同じになります。

函館レーダー運用休止による影響範囲

令和7年5月23日～7月11日

(例)

- ・解析雨量・速報版解析雨量
- ・降水短時間予報値・速報版降水短時間予報値



レーダーの運用休止により影響を受ける観測資料は下記のとおりです。

記

影響を受ける観測資料

- ・ 5分毎 250m メッシュ全国合成レーダー降水強度G P V
- ・ 5分毎 1 km メッシュ全国合成レーダーエコー強度G P V
- ・ 5分毎 1 km メッシュ全国合成レーダーエコー頂高度G P V
- ・ レーダー毎極座標レーダーエコー強度G P V
- ・ レーダー毎極座標ドップラー速度G P V

また、運用休止に伴いこれらの観測資料を用いて作成しているプロダクトの品質等に影響があります。なお、影響があるプロダクトは以下のとおりです。

- ・ 推計気象分布（天気）
- ・ 高解像度降水ナウキャスト
- ・ 降水ナウキャスト
- ・ 解析雨量・速報版解析雨量
- ・ 降水短時間予報値・速報版降水短時間予報値
- ・ 解析積雪深・解析降雪量
- ・ 降雪短時間予報値
- ・ 竜巻発生確度ナウキャスト
- ・ 雷ナウキャスト
- ・ 土壌雨量指数
- ・ 流域雨量指数
- ・ 表面雨量指数
- ・ 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）
- ・ 洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）
- ・ 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）
- ・ 線状降水帯の雨域（シェープファイル形式）
- ・ 地上気象実況報・新形式地域気象観測報※

※函館レーダーの運用休止期間中は函館、室蘭及び青森地方気象台における雷の自動判別が行われなくなります。

以上